

社会の変容 (17~18世紀)

1 問屋制家内工業により 2 農村に 貨幣経済が 浸透→ 貧富の差の拡大

→ { 貧農…土地を質入れ→質流れ→ 3 小作人化(質地小作) 都市へ流出する者も
富農(4 豪農)…新田開発や質流れ地を獲得→ 5 地主化 地主手作から寄生地主へ

→ 本百姓体制の動揺…村内自治や年貢徴収に支障

<例> 6 村方騒動 (約3200件)…村落内部の紛争 村役人の交替・貧農の村政参加などを要求

7 質地騒動…質入れ田地の取り戻しを要求 特に質流し禁令(1722)直後

※都市部でも貧富の差が拡大→貧しい民衆は零細な 8 棟割長屋へ

一揆と打ちこわし

天災・凶作・飢饉の多発… 9 津留(領外への物質移出禁止)により深刻化

<例> 10 享保 (1732)…西日本、長雨・虫害(ウンカ)

11 天明 (1782~87)…東北中心の冷害 長雨・ 12 浅間山 噴火(1783)

※ 13 天保飢饉(1833~39)と合せて三大飢饉と言う

→ 農村の疲弊 →人口の停滞(11 間引など)、都市への流入(12 無宿者) →治安問題

《農村》 16 百姓一揆(約3200件) ※ 14 傘 連判状…主謀者を隠す?

17世紀後半: 17 代表越訴型… 18 義民の 19 直訴 ※伝説化

直訴…領主・将軍への訴え 越訴(所定の手続きを経ない訴え)の一種

義民…村を代表 多くは死刑(磔) <例> 20 佐倉惣五郎(木内宗吾)[下総] 多田嘉助[信濃]
磔 茂左衛門[上野] 松木庄左衛門[若狭]

18世紀 21 惣百姓一揆…村役人層の指導

<例> 1754. 久留米一揆[筑後]…16万人以上の参加 1783. 元文一揆[陸奥]

《都市》 19 打ちこわし (約500件)…都市の町人(貧民)が米屋・豪商を襲う (←米価高騰など)

<例> 初例は享保(1733) 20 天明の打ちこわし(1787. 大坂・江戸他)など

田沼政治

21 **家重**

9代 1745～60. 吉宗の子 病弱 最初は吉宗が執政(大御所政治)

→吉宗没(1751)後は側用人²²大岡忠光が台頭

23 **家治**

10代 1760～86. 家重の子

24 **田沼意次**

…小姓・側用人から老中へ 執政1767～86

A. 商品経済の保護・統制と利用

①²⁵株仲間の奨励 →特権付与、²⁶運上・²⁷冥加の徴収

※^{くりわたのべばいばい}繰綿延売買会所・^{きぬいとあらため}絹糸改会所設置…取引の円滑化、取引税の徴収

②²⁸専売制の導入・強化…座の増設など

<例>²⁹銅座 (1766復活)、³⁰人参座、³¹鉄座、^{しんちゅう}真鍮座、俵物会所

③ 通貨政策 →東西経済の一体化

<例>³²南鐐二朱銀 …銀の計数貨幣 8枚で金1両

④³³印旛沼・手賀沼の干拓…利根川下流 ※享保改革当時から着手

B. 鎖国政策の見直し

⑤³⁴長崎貿易の拡大…³⁵銅・俵物を積極的に輸出、金銀を輸入

⑥³⁶蝦夷地調査 →ロシア人(³⁷赤蝦夷)との交易も計画

☆1778. ロシア船、³⁸厚岸へ来航…ロシアのシベリア・オホーツク海進出

³⁹工藤平助 (仙台藩医師), 『⁴⁰赤蝦夷風説考』を提出し交易などを主張

→⁴¹最上徳内 (出羽の農民出身、⁴²本多利明に師事)らを蝦夷地探検に派遣

影響

① 反対勢力による抵抗 <例>松平定信ら幕府保守派、両替商など

② 株仲間による独占→物価高など社会の混乱→江戸・大坂で⁴³打ちこわし

③ 大商人との癒着→賄賂の横行→民衆の反発

結末

天災の頻発…⁴⁶浅間山噴火(1783)・⁴⁷天明の飢饉(1782～87) →百姓一揆の増加

若年寄⁴⁴田沼意知 (意次の子)暗殺(1784)←⁴⁵佐野政言(「世直し大明神」)

家治没(1786) →意次失脚…改革の多くが撤回

家治没(1786) →意次失脚…改革の多くが撤回

【正誤問題に挑戦】<1995年度本試験より>

- (1) 佐倉惣五郎の伝承に知られるように、処刑された一揆の指導者の中には義民として崇められる者がいた。
(2) 幕府内で権力を振るった田沼意次の弟意知が、江戸城中で刺し殺されるとともに、意次は失脚した。

将軍家斉の治世・前半（寛政の改革）

1 **家斉** 1 1代 1787～1837. 一橋家出身
 2 **松平定信** ^{まつだいらさだのぶ} の登用(老中首座)…3 **寛政** の改革[1787～93]
 …田安家出身(吉宗の孫) 4 白河藩主時代、天明の大飢饉で餓死者を出さなかった

A. 飢饉対策・農村の復興・無宿者対策

- ① 5 **困米** (困粃) の制…諸大名 1 万石につき米 5 0 石の備蓄(5 年間継続)を命令
- ② 各地に 6 **義倉** (富裕者の供出) ・ 7 **社倉** (一般庶民から) …穀物備蓄
- ③ 8 **七分積金** (七分金積立) [1791]…江戸の町入用(経費)を節約。節約分の 7 割を江戸町会所に積み立てて運用(融資)し、その利子を貧民救済にあてる→御救小屋
- ④ 9 **旧里帰農令** …江戸の 10 **無宿者** の希望者に資金を与えて帰村を勧める 効果なし
他に 助郷の軽減、出稼ぎの制限、営利副業禁止、墮胎・間引きの禁止など
- ⑤ 11 **人足寄場** [1790]…江戸 12 石川島に 13 **無宿者** の強制収容・職業訓練 長谷川平蔵 (火付盗賊改)

B. 経済・商業の抑圧

- ⑥ 14 **棄捐令** [1789]…1784年以前の債務は破棄 以後1789年までのものは年利 6 %
→旗本・御家人の救済、札差ら打撃
- ⑦ 15 **儉約令**…各階層別に公布
他に、株仲間の一部廃止、長崎貿易の制限、米価・物値の調整など

D. 人材育成、思想統制、風俗取締

- ⑨ 16 **寛政異学の禁** [1790]…聖堂学問所では、17 **正学** (朱子学) 以外は講義禁止。
※ 18 寛政の三博士が推進…柴野栗山、尾藤二洲、岡田寒泉(のち古賀精里)
^{しばのりつざん} ^{びとうじしゅう}
- ⑩ 19 **昌平坂学問所** (20 **昌平黌**) …聖堂学問所を改称 林述斎 私塾から官立へ
^{しょうへい} ^{こう}
- ⑪ 21 出版統制令…政治批判や風俗を乱すものとして
〈例〉 22 **山東京伝** (洒落本)、 23 **恋川春町** (黄表紙)、 24 **葛屋重三郎** (版元) らを弾圧
25 **林子平** 『26 **海国兵談**』 1787～91…ロシア南下を警告、海防の急を説く
(仙台：兵学者) 『27 **三国通覧図説**』 1785…朝鮮・琉球・蝦夷地の地理書
→ 1792. 5 処罰 (出版禁止、版木没収、蟄居 →1793. 6/21没)
※ 1792. 9/3. ロシア公式使節が根室へ来航 (→近世17)
- ⑫ 風俗規制…男女混浴・女髪結・私娼(非公認売春)などの禁止

結果	① 厳しい統制→効果は一時的 庶民の不満	② 商業統制の失敗	③ 対外政策の遅れ
-----------	----------------------	-----------	-----------

影響 ・ 厳しい統制→効果は一時的 庶民の不満 ・ 商業統制の失敗 ・ 対外政策の遅れ

結末	28 尊号一件 …29 光格天皇の父 仁親王 (元天皇ではない) に“太上天皇”	} →定信の反対で 中止
	大御所問題…徳川家斉の父 一橋治済 (元将軍ではない) に“大御所”	

將軍家齊の治世・後半（大御所時代）

29家齊 11代 1787～1837 ※主な年号：30文化、31文政 →32化政期

※子の33家慶に將軍を譲ってから実権(1841没)…34大御所時代[1793～1841]

財政の破綻…御用金・貨幣改鑄(35文政金銀)で補う→商業の活性化・庶民文化の爛熟

治安の悪化 →36関東取締出役(八州廻り)設置(1805)…無宿・博徒の取締

諸藩の藩政改革(天明～寛政期) 18世紀以降

背景 藩財政の窮乏・百姓一揆の多発 など.

特色 ①37藩主が主導 ②38藩学(藩校)の設立…人材の育成

③39国産の奨励→40専売制の実施…国産会所(産物役所)の設置

④その他 <例>倹約、新田開発、藩札の発行

<例> 41細川重賢(しげかた) (ぎんだい) [熊本] …藩学42時習館 治水・減税 榎栽培奨励→ロウの専売

43上杉治憲(はるのり) (ようざん) [米沢] …藩学44興讓館 財政整理 45米沢織の奨励と専売

46佐竹義和(よしまさ) [秋田] …藩学47明德館 織物・製紙・醸造などの育成

【正誤問題に挑戦】 <1991年度追試験、1993年度追試験より>

- (1) 江戸の石川島に、人足寄場を設けて無宿者などを收容した。○
- (2) 秋田藩では、藩主佐竹義和が荒廃した農村の復興と特産物生産を奨励し、藩学(藩校)を振興した。○

※世界情勢の変化…18～19世紀

[月 日]

(1) 欧州諸国のアジア侵略

〈例〉イギリス→インド支配強化、清へ フランス→インドシナ地域へ
ロシア→北太平洋へ(エカチェリーナ2世)、清とも接触 →日本へ

(2) 欧州世界の混乱 ナポレオン(仏)の領土拡大→オランダ王国消滅(1793-1813)、英国と対立

ロシアとの関係と蝦夷地

[I] ロシア来航以前 ※1778. ロシア船厚岸へ…松前藩が隠す

田沼 1 最上徳内らを蝦夷地探検に派遣→田沼失脚で中止

寛政 2 林子平『海国兵談』『三国通覧図説』→1792.5 処罰(版木没収、蟄居)

細かに思へば、江戸の日本橋より唐・阿蘭陀まで境なしの水路なり。

[II] ロシア船来航と幕府の対応

4 1792. 5 ラクスマン (軍人・地質学者)が6 根室 へ来航(9/3)

7 大黒屋光太夫らの漂流民の送還と通商を求める ……筆記は桂川甫周

…伊勢の船頭 女帝エカチェリーナ2世と会見 漂流記『北槎聞略』

→通商は拒否(1793. 6/27)、長崎への回航を要求(入港許可証を発行)

1798. 8 近藤重蔵らを東蝦夷探検に派遣

→^{クナシリ}国後・^{エトロフ}択捉へ “大日本恵登呂府”標柱

1799. 幕府、東蝦夷を幕府直轄化

1800. 9 間宮林蔵を北方探検に派遣

→樺太・シベリアへも

…伊能忠敬に測量術を学ぶ

間宮海峡の発見[1809]

…樺太が島であることを確認

1802. 蝦夷奉行(箱館奉行)設置

1804. 10 レザノフ (貴族・毛皮会社重役)が11 長崎 へ ←

漂流民 津太夫(皇帝アレキサンドル1世と会見 『環海異聞』)らの送還と通商要求

→拒否 →樺太・千島各地で武力衝突[1806～07]→日露関係悪化

1807. 西蝦夷も直轄化…箱館奉行を松前奉行と改称 松前藩は陸奥へ転封

1811. 12 ゴローウニン (軍人 『日本幽囚記』)を^{くなしり}国後で捕える

ゴローウニン事件

1812. 13 高田屋嘉兵衛 (淡路の商人)、^{えとろふ}択捉で捕らわる

→緊張緩和、

1813. 双方の人質の交換

国境の確定へ

→方針を変更…蝦夷地を松前藩に返還[1821]、奉行も廃止 ※のち再設置[1855]

欧米船の接近と打払い ☆英・米の捕鯨船なども薪・水・食料を要求

1806. 文化の薪水給与令 (撫恤令) …通商要求は拒否 薪・水・食料を与えて退去させる

↓
1808. 14 フェートン号 事件 ☆ナポレオン戦争が長崎へ波及

英軍艦、オランダ商船を追って長崎へ→薪水・食料を強要→長崎奉行 松平康英自害

↓
1825. 15 無二念 (異国船) 打払令 …清・オランダ船以外は理由に関係なく撃退

一体いきりすに限らず、南蛮・西洋の儀は御制禁邪教の国に候間、以来何れの浦方におゐても異国船乗寄候を見請候はゞ、其所に有合候人夫を以て有無に及ばず一箇に打払い。…二念無く打払いを心掛け、図を失わざる様…

※前年(1824)に水戸(大津浜)・薩摩(宝島)で外国船の上陸事件

↓
1828. シーボルト事件…帰国時に日本地図など所持→国外追放。天文方高橋景保獄死。弟子50人処罰

↓
1837. 16 モリソン号 事件…漂流者の送還と通商の要求→実力で撃退(浦賀・薩摩山川)

→批判<例> 17 渡辺崋山 『18 慎機論』(未公開)、 19 高野長英 『20 戊戌夢物語』(匿名)

……田原藩家老・蘭学者・画家

……町医者・蘭学者 シーボルトに師事

↓
1839. 21 蛮社の獄 … 鳥居忠耀 (耀蔵「妖怪」町奉行)による蘭学者の弾圧 崋山・長英ら処罰

…… 22 尚齒会 (蘭学者グループ)への蔑称 他に江川英竜・川路聖謨・小関三英ら

↓
1840~42 23 アヘン戦争…清の大敗

↓
1842. 24 天保の薪水給与令…方針の転換

☆漂流民の帰国… ジョン万次郎(中浜万次郎帰国)1851、ジョセフ=ヒコ(浜田彦蔵帰国)1859、など

【正誤問題に挑戦】<1997年度日本試験より>

- (1) 大黒屋光太夫は、漂着してロシアから送還された後に、『赤蝦夷風説考』を著した。
- (2) 林子平は、ペリー来航を間近に見て、アメリカからの外圧に対する準備の必要性を説いた『海国兵談』を著して処罰された。

社会の変容(19世紀)

[月 日]

1 在郷商人 (在方商人)の登場←在郷町(在方町)の成立

地主などが商人に成長、都市の大商人と対立 農村内で都市化の進行

問屋制家内工業から2 工場制手工業 (3 マニファクチュア)へ

… 在郷商人などが工場を設立、近在の貧農が労働者 分業体制
天保頃から 絹織物・綿織物 <例>結城縞(下総) ※酒造では江戸前期から

※4 国訴 …広範囲(国・郡) 在郷商人や豪農の指導で農民が行動 特権商人・領主に合法的に対抗

<例> 1823. 摂津・河内で木綿・菜種の自由販売や干鰯の値下げを要求

※幕末には5 世直し一揆が増加…小作・貧農中心に小作地・質地の返還、村役人の不正追及を要求

(政治的要求)

諸藩の天保改革 有能な下級武士の登用 専売制の活用 洋式軍備の導入

藩営マニファクチュアから洋式機械工場へ …→雄藩の登場

6 薩摩(鹿児島)藩：下級藩士7 調所広郷 (笑左衛門)…島津重豪・斉興が登用 ※のち自殺

- ・負債整理…500万両→250年賦
- ・琉球との交易(清との密貿易)
- ・専売制の強化 <例>黒砂糖(奄美三島)、硫黄、ロウ、菜種など

→再建に成功 →9 島津斉彬 (1851-)による洋式技術導入…集成館事業(製鉄・造船・紡績など)

10 長州(萩)藩：中級藩士11 村田清風 …藩主12 毛利敬親 (1836-)が登用 のち失脚

- ・負債整理…約8万貫(128万両)を37年賦
- ・下関に13 越前…倉庫業・金融業
- ・専売制の緩和 <例>紙・ロウ ← 防長大一揆[1831]

→再建に成功 →洋式兵術の採用

14 肥前(佐賀)藩…藩主15 鍋島直正 (1830-)主導 「経済大名」「算盤大名」の異名

- ・負債整理…8割は放棄・2割は50年賦
- ・均田制…土地を商人・地主から小作人へ配分
- ・専売制の強化…16 陶磁器(有田焼)、石炭、ロウ

→再建に成功 →洋式技術の導入 <例>17 反射炉 (大砲製造のための溶鉱炉) …日本初

18 水戸藩…藩主19 徳川斉昭 (1829-)が主導 専売(こんにやく・紙) 均田制

人材登用(藤田東湖ら) 水戸に弘道館(1841) 20 水戸学の発展→尊王攘夷へ

21 土佐(高知)藩…藩主山内豊熙(1827-)が主導 「おこぜ組」(改革派) 財政緊縮・専売制

ほかに、伊予宇和島藩[藩主 伊達宗城]・越前(福井)藩[藩主 22 松平慶永]など

【正誤問題に挑戦】 <1991本試験、1992本試験より>

- (1) 幕府は、天保の改革の際に上知令を出し、江戸・大坂周辺の農民の土地を取り上げようとした。
- (2) 長州藩の村田清風は、藩財政の再建をはかる一方、農民の不満をやわらげるため専売制を改革した。



大御所時代と天保の改革

23 家齊 11代 1787～1837 財政の破綻・治安の悪化・商業の活性化・庶民文化の爛熟

☆24 天保大飢饉 (1833～39) …東北中心の冷害
洪水など 江戸に御救小屋

→郡内騒動 (甲斐天保一揆) [1836]、
三河加茂一揆[1836]など

25 大塩 (平八郎) の乱[1837]

……陽明学者 大坂町奉行所元与力
(私塾洗心洞) 町奉行や豪商に憤慨 大坂で武装蜂起→幕府に衝撃

26 家慶 12代 1837～53 ※初期(-1841)は家齊が実権

27 生田万 の乱[1837] …越後柏崎で代官所襲撃 大塩門弟を自称 (平田篤胤門下の国学者)
モリソン号事件[1837]・蚕社の獄[1839] 三方領知替(川越藩・庄内藩・長岡藩)の撤回

<28 天保 の改革[1841～43]> 老中29 水野忠邦 ※家齊没後すぐ

A. 思想・文化の弾圧 ※南町奉行 鳥居忠耀 (耀蔵「妖怪」) ↔北町奉行遠山景元

- ① 風俗取締令 (178回) <例>30 為永春水 (人情本) ・31 柳亭種彦 (合巻) の処分 相撲絵・浮世絵も
- ② 芝居の弾圧…小屋の移転、七代目市川団十郎ら追放

B. 経済政策

- ③32 株仲間の解散 [1841] …独占排除、仲間外の新興商人 (=33 在郷商人) の取引を認める
物価抑制がねらい →経済の混乱→失敗 (1851. 株仲間再興令)

向後仲間株札は勿論、此外共都而問屋仲間並組合杯と唱候儀は相成らず候。

- ④34 人返し令 (法) [1843] …江戸流入者の強制帰郷 →離村・出稼ぎ禁止 農村の復興

一、近年御府内え入込み、裏店等借請け居り候もの内には妻子等もこれなく、一期住み同様のものもこれ有るべし。左様の類は早々村方え呼戻し申すべき事

- ⑤35 棄捐令 [1843] …旗本・御家人の救済 幕府分は半免、札差による貸付金は無利息年賦
- ⑥ 儉約令…日常生活の細部に及ぶ <例> 富くじ、質屋、祭礼、料理
その他 物価引き下げ令、御用金徴収、貨幣改鋳

C. 海防策・危機管理

- ⑦36 天保の薪水給与令 [1842] …無二念打払令の撤回
- ⑧37 印旛沼手賀沼干拓 …増収と江戸湾の防衛 農政家 二宮尊徳を起用
- ⑨38 上知(知)令 [1843] …江戸・大坂周辺を直轄領に編入(交換)

→大名・旗本・農民などの反対→断念 →忠邦失脚 (1843 ただし翌年一時復帰)

→老中 39 阿部正弘 …40 江川英竜、ジョン万次郎らを登用 島津斉彬・徳川斉昭らと連携

……太郎左衛門 幕臣 (伊豆蕪山の代官) 尚齒会の一員
高島秋帆 (砲術家) に師事 蕪山に43 反射炉 建設